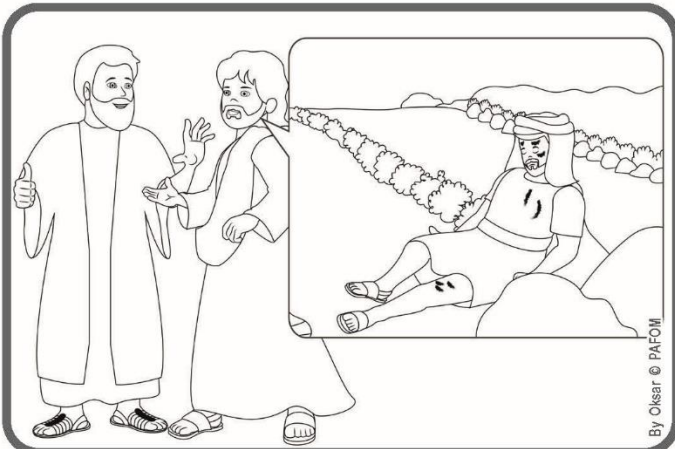


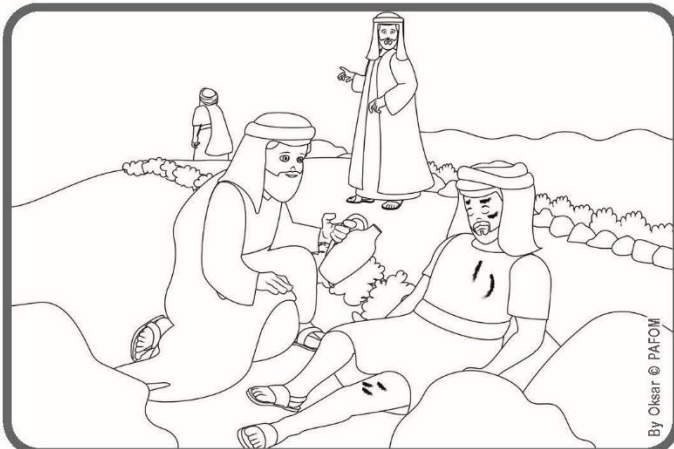


かみさまと、ちかくのひとを あいしましょう。

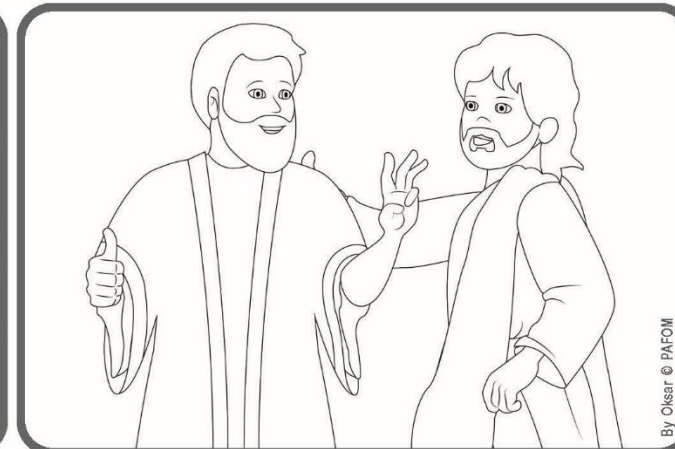
あなたのかみであるしゅをあいしなさい。またりんじんを
じぶんのようにあいしなさい。
(ルカ、10・27)



あるりっぼうがくしゃがイエスさまにききました。「いちばん
たいせつなおしえはなんですか？ かれはこうこたえます。
「あるひとが、たびのとちゅうでとうぞくにおそわれ、すべて
をうばわれ、みちのうえでしんだようになってしまいました。」



さいしさま、しんでんのレビびとがとおり、そのひとを
みましたが、たすけませんでした。サマリアじんはたち
どまってきずのであてをして、やどやまですていき、
おかねをはらってせわをたのみました。



「いちばんたいせつなことをしたのはだれですか？」イエスさま
がきいています。「さんになめのひとです。きずついたひとのお
せわをしたひとです。」「そうです」イエスさまはいいました。
「あなたもあなたのりんじんにおなじようにしなさい。」



あるひ、いえにかえるとちゅう、たくさんにひと
たちがやさいや、くだものをうっているいちばを
とりました。ひとりのおばさんにあいさつして
いるとき、わたしのめのまえにいつこのトマト
が、またひとつのトマトがおちています。



まえをみると、ひとりのおじさんがおおきなかごをもってたいへん
そうにあるいていました。おもそうでした。だれもトマトがおちて
いるのにきがつかず、だれかがつぶしていまうでしょう。



おじさんはとてもつかれていて、しんばいしていました。
だからわたしはとまっておちたものをぜんぶひろいまし
た。かれはおおきなほほえみでにつこりし、わたしもにつ
こりました。たすけてあげたこととってもうれしかったです。